

登録コード	UAC52500	開講年度	2026			
授業題目	英語学研究			担当教員	伊藤 尽	
				副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・2時限	
			授業形態	講義		
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」			【授業の達成目標】		
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学					
	【人間文化学】人間文化に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する人文学の伝統的な手法を身につけるとともに、他の学問分野の解析手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。			活字化された校訂本を対照させ、それぞれの解釈や学説を比較検討しながら読解することで、インターネットを利用して写本のファクシミリ版を読むことで古書体学的な知識を体得できるようになる		
	【人間文化学】高度な言語運用能力とコミュニケーション能力を基盤として、多領域のステークホルダーと協働し、現代社会の課題に取り組みながら、独創的かつ多文化共生的な英知の創成と提案を行う力を有する。			英語、ドイツ語、ラテン語に加え、古アイスランド語の基本文法を修得した上で、時代や空間を超えた人間の思考を理解することができるようおになる		
	【人間文化学】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。			中世北欧文献学的な演習を通して、中世英語文学や共時的あるいは通時的英語学研究との共通性や差異を認識し、自分の専門的な研究に応用できるようになる		
	【人間文化学】人間文化学に関わる地域中核人材・研究者・教育者として備わっているべき高い倫理観を有する。			インターネット上のリソースを活用することで、時間・空間を超えた先人たちの業績への敬意を表することができるようになる		
(2)授業の概要	古アイスランド語文献『巫女の予言 (Volspa)』及び『グリームニルの言葉 (Grimnismál)』の読解を読書会形式で行います。 既に多くの研究者によって読まれ続けている古典的作品ですが、最新の研究を参照しながら読むことで、他の研究者ともZoomを通じて意見交換を行います。 対面式ではなく、Zoomを行うことで、関東地方や北陸地方、関西圏の研究者・大学院生との交流を図ることになります。					
(3)授業計画	1．オリエンテーション。テキストの紹介と校訂本、グロスリー、レファレンス資料の紹介と使い方を説明します 2 - 14．各回毎に読解する範囲を定め、その連を予め読解し、授業内で発音を学び、音読し、韻律を学び、先行研究の学説を参照・引用しながら独自の解釈を発表します。 基本的には『王室写本』(Reykjavik: GKS2365 4to)のスタンザを読みますが、対応箇所『ハウクル本』(AM544 4to)および『スノッリのエッダ』も参照します。 また、他の研究者からその発表への批評を受け、意見交換を行います。 2．『巫女の予言』51スタンザ精読・韻律と解釈・批評と議論 3．『巫女の予言』52スタンザ精読・韻律と解釈・批評と議論 4．『巫女の予言』53スタンザ精読・韻律と解釈・批評と議論 5．『巫女の予言』54スタンザ精読・韻律と解釈・批評と議論 6．『巫女の予言』55スタンザ精読・韻律と解釈・批評と議論 7．『巫女の予言』56-57スタンザ精読・韻律と解釈・批評と議論 8．『巫女の予言』58-59スタンザ精読・韻律と解釈・批評と議論 9．『巫女の予言』60-61スタンザ精読・韻律と解釈・批評と議論 10．『巫女の予言』62-63スタンザ精読・韻律と解釈・批評と議論 11．『グリームニルの言葉』序 スタンザ精読・韻律と解釈・批評と議論 12．『グリームニルの言葉』1スタンザスタンザ精読・韻律と解釈・批評と議論 13．『グリームニルの言葉』2スタンザ精読・韻律と解釈・批評と議論 14．『グリームニルの言葉』3スタンザ精読・韻律と解釈・批評と議論 15．総論。古アイスランド語文献の読解について、現代社会との関わりについてまとめます。					
(4)成績評価の方法	恐らくは初めて出会う言語の修得と、先行研究の渉獵を同時並行的に行うため、言語学的側面と文献学的な先行研究省用の側面について評価します。					
(5)成績評価の基準	言語学的側面は以下のとおり評価します ・辞書やグロスリーなどを参照しながら、語彙の意味を推測できれば水準にある ・語彙の意味を理解した上で、idiomaticな表現まで理解できればやや上にある ・文法の知識を利用して、形態論的、統語論的な語彙の関係性を説明できればかなり上にある ・語彙論、形態論、統語論の知識に加え、以下の文献学的側面と連携がとれば、卓越している 文献学的側面は以下のとおり評価します ・先行研究をひとつ参照し、内容の解釈について、二つ以上の解釈を知っていれば水準にある ・先行研究をふたつ以上参照し、写本上の記載のヴァリエーションに注意を向けられればやや上にある ・先行研究を参照し、インターネット上の写本のファクシミリを自分で参照できればかなり上にある ・文献学的知識に加え、言語学的側面と連携がとれば、卓越している					
(6)事前事後学習の内容	事前学習は、与えられたテキスト範囲について、言語学的、文献学的に調べ、知識を整理する 事後学習は、テキスト読解の復習を兼ねて、英語やドイツ語の翻訳を参照する					
(7)履修上の注意	この授業は、授業の性質上対面ではなく、Zoomを使つてのオンライン授業となりますが、担当者への報告や連絡や相談は対面で行いますので、予めアポイントメントを取ってください。					
(8)質問、相談への対応	アポイントメントを取って、対面で行います。 アポイントメントおよび質問・相談はメールにて受け付けます。 j-tksitoを信州大学アカウントの前につけてください。 都合によりZoomによる対応を取ることもあります。					

【教科書】	Jonas Kristjanson & Vesting Olason, eds. Eddakvaedi I-II. Islenzk Fornritafelag, 2014.
【参考書】	谷口幸男訳『エッダ：古代北欧歌謡集』新潮社、1973. シーグルズル・ノルダル著、菅原邦城訳『巫女の予言：エッダ詩校訂本』東海大学出版会、1993. Beatrice La Farge, John Tucker. Glossary to the Poetic Edda, Based on Hans Kuhn 's Kurzes Woerterbuch. Carl Winter, 1992. ISBN 9783825345402 Carolyne Larrington, tr. The Poetic Edda. Revised Edition. Oxford World 's Classics. Oxford University Press, 2014. ISBN 9780199675340 Gustav Neckel & Hans Kuhn, ed. Edda: Die Lieder des Codex Regius nebst verwandten Denkmaelern. Vol. 1 Text. 5th ed. Carl Winter, 1983. Andy Orchard, tr. The Elder Edda: Myths, Gods and Heroes from the Viking World. Penguin Books, 2011. ISBN 9780141393728 Hermann Palsson, ed. Volspa: The Sybil's Prophecy. Lockharton Press, 1996. ISBN 1-874665060 Klaus von See, Beatrice La Farge, Katja Schulz, eds. Kommentar zu den Liedern der Edda, Vol.1/I, Gotterlieder Voluspa [R], Havamal. Universitaetsverlag Winter, 2019. ISBN 9783825369637 Klaus von See, Beatrice La Farge, Katja Schultz, eds. Kommentar zu den Liedern der Edda, Vol.1/II. Gotterlieder Vafthrudnismal, Grímnismal, Voluspa [H], Zwergenverzeichnis aus der Gylfaginnin. Universitaetsverlag Winter, 2019. ISBN 9783825369637